

# もはら

平成二十五年は、日向聖人の七百遠忌です。

題字・持田日勇貫首親下

## 第18号

発行日 平成20年4月6日

発行所 千葉県茂原市茂原 1201  
日蓮宗本山東身延 藻原寺  
発行責任者 総務執事 増田 寶泉  
TEL0475-22-3153

- 5/3 1中川上人、長谷・鏡濟寺に入寺します。  
名前も泰隆〜貫泰に改名し、持田貫首様のお弟子になりました。
- 藻原寺和讃会が鏡濟寺入寺式で和讃奉納をします。



### 掲示板

田中豊彦さんが茂原市の市長選挙に立候補します。田中さんは藻原寺のお檀家さんの一人で、日頃より行事等にお参りいただいています。当山のお檀家さんから茂原市長が誕生すると、松本紋四郎さん依頼の快挙となります。

### 茂原時代行列

2008年5月

10日(土)



### 「日蓮聖人お迎え時代行列」

多くの皆様の参加を募集します。

第三回時代行列

五月十日(土) 十二時半



## 貫首様のお言葉

日向聖人七百遠忌報恩  
記念事業について

来る平成二十五年九月三日は  
門祖日向聖人の七百遠忌に正当  
します。

日向聖人の事績の紹介と報恩記  
念事業を行なうことについては、  
平成十六年七月一日発行の「も  
ばら」第七号に掲載して発表しま  
した。

あの当時は書院の再建と日蓮大  
聖人の大銅像の建立とどちらを  
やった方がよいか迷っており、書  
院の再建の計画図を作りました  
ら、望が膨らみ費用が五億円余  
を要することとなりました。そん  
なにかかるのなら、むしろ銅像を  
建立した方がよいのではないかと  
と総代会に相談しました。大銅  
像建立の目的は寺起こし、町おこ  
しにあります。日本国中に茂原  
市と藻原寺を知らしめることで



御頭講会で

す。  
総代会は莫大な費用がかかるこ  
とであるので、啞然としていまし  
たが反対ではありませんでした。



想像図

それで漸く、平成十八年  
の八月三十日に、日本一  
の仏具屋である翠雲堂に  
本山に来てもらい会長に  
相談しました。

その後三回の打ち合わせを行な  
い、平成十九年の五月十五日に  
日蓮大聖人大銅像建立のための  
第一回総代会を開きました。  
以降平成十九年十一月十五日ま  
で三回の総代会を開きまして、ほ  
ぼ建造物の概要を決定しまし

た。

銅像の高さは二十メートル、台座  
の高さ十九メートル。従って総高  
さ三十九メートルとする。日蓮  
聖人が立正安国論を鎌倉幕府に  
奏進されたのが三十九才の時だ  
あるからであります。

台座は三層として一階に多目的  
ホール、二、三階に納骨堂を作る。  
建築場所は駐車  
場奥、仏殿の前  
とする。

建設予定地

建築費用は確定  
しませんでしたが、計画の拡大  
化にしたがって  
増加し九億円余  
となりました。

費用捻出の方法  
については、建築



費用が  
確定し  
ません  
ので、  
きちつ  
とした  
検討を  
してお  
りません  
が、本山  
及び住職  
提出

金一億円、檀信徒志納金三億円、  
法縁寺院及び一般寺院寄付金一  
億円、他は借入金と考えており  
ます。

しかし、年末に総代の改選を行な  
いまして、平成二十年一月十五  
日に新総代による銅像建立会議  
を開催したところ、「設置場所の  
駐車場奥は巨大なものを建てた  
場合に圧迫感がありすぎる。藻  
原山山上がよい」ということにな  
りました。それも藻原山の中央、  
華経房奥の院の隣接地が適切で  
あるということになりました。

従いまして設計変更が行なわれ  
ます。銅像の高さは二十メートル  
で変わりませんが、台座の高さが  
変わる可能性もあります。

ですから設計もこれからやり直  
しと云うことになりますし、予算  
も確定しません。しかし

建てることは確実です。  
現在、建築地が公園に  
貸してしまっていて、茂  
原市役所の協力によっ  
て公園の区域変更を千  
葉県に申請していると  
ころですが、一年近くの  
時間がかかるようです。

尚、日蓮大聖人の銅像の原型を



川崎晋照先生に制作を依頼しています。川崎先生は日本芸術院会員で、日展理事をしている、日本で有数の彫刻家であります。既に制作費を支払い、一年後の完成を待つております。

此の日蓮大聖人銅像建立企画段階に於いて、台座に納骨堂を設置するという案が出てきたことは素晴らしいことであります。

これによつて二千五百靈位との縁が結ばれ、格護する人々との縁の輪が広がっていくことは素信仰の輪が広がります。祖師像請らしいことであります。祖師像建立費用の充当もでき、またこの方達の信仰増進に繋がり、本山の発展に結びつくなら、本当にありがたいことと思います。お互いに、この一期一会を大切にしていきたいでしょう。

インド寄稿

月崎了淨

昨年十一月二十一日、間、国際佛教親交会において、インド龍宮寺法要に行かせていただきました。

勿論、持田貫首の荷物持ちとしてですが、有難い事に二度目の海外にして二回目のインドと成りました。



二年ぶりのインドは  
すごく変わっていま

した。砂利道は舗装路に、交差点には殆ど信号機が付いていたし、反対車線を飛んでくる車は余り見かけなくなったり、その代わり、スエツグのせいか空はどんよりと曇っている

夜は星が見えない程でした。僅か二年の間にこれだけ発展するとは、インドは強い国だなあ。と思うと同時に、日本もどうかうかしていいれないなあと思いました。しかし、それに合わせるように人々の生活も良くなつてはいるのでしょうか、龍宮寺へのお参りは大分減つたようで、国の発展と共に生活から信仰が離れて行くような感じがしました。

三日目の午前中はナグプール市内の大学のとなりにある仏舍利塔に行きました。お釈迦さまの御一代記が彫刻で展示しており、世界の代表的な仏教寺院の模型が展示してありました。龍宮寺はあつたのですが日本の寺院は有りませんでした。(チヨット意外ですが、アジアにおいて日本は知名度低いのです。)

午後は龍宮寺に行きリハーサルを



行つた後、急遽予定を変更し熊宮寺での歓迎パーティーがなわれまして、バンドが入りダンスがあり。又、インドに南無妙法蓮華経の歌があつて驚きました。

ハフニング(昼間は暑いのに夜は……イン  
ド人は分厚いジャンパー? 分厚いショウ  
ル。私たちはTシャツ。しかし、ささ  
寒い。)又、(龍宮寺への行き帰り、ドライ  
バーが黒邪? 咳き込む度に「移ったら  
どうすんだ」と、眞首様 怒り。)  
翌日 七時起床(ちやうと喉が痛い、  
もしかして移った? 念のため風邪薬を  
飲む。)本日は妙高山龍宮寺創立  
八周年記念法要のため龍宮寺へ  
(迎えのドライパーがまたまた咳き込む  
ので眞首様ご機嫌斜め「うつちやった  
よ」と怒り。やっぱり?)



と言ふよりはスモッグ？薄霧がかつた感じでした。スリランカでは、身延山別院に行つて歓迎会と津波の慰霊祭を行います。

「園児達が歓迎に『にちれんさま』の歌を歌ってくれましたが、『日本中を日本中をてらします。』というフレーズで、何でも日本で日本なのだ、と思い、情けなさに泣けてしまいました。」

キャンディでは、夜七時からの仏  
歯寺のお勤めに参拝するため時間  
調整をかねて公園を散歩、日立  
のコーシヤルの「あの木何の木」が  
ありました。仏歯寺は裸足で入り  
ます。（お釈迦さまの歯は何処？）  
スリランカ最終日、空港には身延山  
別院の石原上人が見送りに来てく  
れました。「俺も帰りたいよお！  
オーラがでていました（身延云々い  
まうつ。）」

シンガポールでは、淺原寺に一年間研修でいた事もある野田上人が出迎えにきてくれました。シンガポールはすこく綺麗な国です。宿泊だけの滞在が残念でした。

今回もインド行きが決まっから葉の心配を頂いた鶴沢さんを始め、常在講、淺原寺・長久寺等の信徒の皆様には、色々とお心配り頂き紙面を借りて御礼申し上げます。



## 行事

### 除夜の鐘(十二月三十一日)

平成二十年を目前に除夜の鐘が始まりました。お参りの皆様的心と身体が清らかになる様に、貫首様と、貫首様に祈願がされました。(百八つの煩悩を滅滅大作戦?でした)



### 新年祝祷会(一月一日)

新年を迎えた午前0時を合図に新年祝祷の法要が厳修されました。本年は、若干お経の時間を短縮して、なるべく大勢の参拝者にご祈禱出来るようにしました。来年は、堂内に暖房を増やして、靴を脱いで座ってお参りして頂ける方が増える事を願っています。

### お頭講会(一月十四日)

萬原門下の寺院・檀信徒がそろって日蓮大聖人に新年のご挨拶の法会を営みました。法要は、持田貫首様を大導師に、縁起朗読を増田総務が読上げ、又、献茶



を裏千家・鶴沢宗良様、古事に則つての舞には、松本勇子師匠・松本博子様により「七尾まだら」が奉納されました。

### 節分追儺式(二月三日)

前日來心配された天気は雨、上茂原より西では雪により事故が続出という天候の中にも係わらず、多勢の人々が福を求めに来てくれました。

### 午後三時、



止まぬ雨を気にしながら追儺会の法要が厳修され、福茶には、鈴木勇治様・福豆には、久野一裕様・誓詞言上には、白井宗一郎様がそれぞれ努め、いよいよ豆まきに…。役員さんが数日かかって作成した舞台は雨に濡れたままでした。しかし、実行力に優れた当山の役員さんのおかげで、豆・景品等を小袋につめて、総勢六百余名の来山者全員に福を手渡しする事が出来ました。

### 弁天祭(二月十一日)

観光協会主催により法要が営まわれました。本年は晴天とは言え風が強く花粉症にはチョットつ

らい天候でしたが、観光協会会員数十名は、貫首様よりご祈禱を受け、茂原市の発展を祈りました。茂原公園の池の中に浮かぶように弁天堂があり、赤い橋を渡

つて弁天堂にお参りが出来ます。地元で育った者にとつては何気ない風景ですが、改めて眺めますと全国的にもあまり無い風景だと思えます。

### 花まつり(四月六日)



桜も満開で天候に恵まれた今年の花祭りに三十名のお稚児さんが参加してくれました。本年の祭文は金坂奈海さんと、三橋正輝くん・献灯は石渡桜さんと上田莉奈さん・献花は斉藤綾乃さ



んと渡辺琳さん・参加賞授与は児玉

### 新入檀者紹介

茂原市萩原町 古山 秀夫様  
平成二十年一月一日からの入檀者を掲載

### 奉納

仏具奉納 石井静栄様

### 平成二十年度行事予定

華経坊大祭 四月 一日(火)  
花祭り 四月 六日(日)  
身延山布教隊 四月二十九日(火)  
いのりの日  
四月二十九日(身延山)  
お題目初唱会 五月 十日(土)  
宗祖御更衣式 六月 一日(日)  
ほうろく灸 七月二十四日(木)  
盂蘭盆会 八月 十五日(金)  
川施餓鬼 八月二十四日(日)  
門祖講 九月 三日(水)  
秋季彼岸会 九月二十三日(火)  
宗祖御更衣式 十月 一日(水)  
向尊殿大祭 十月 三日(金)  
観音堂大祭 十月 十九日(日)  
お会式 十一月 八日(土)  
子育て観音様大祭

餅つき 十二月 六日(土)  
十二月二十七日(土)